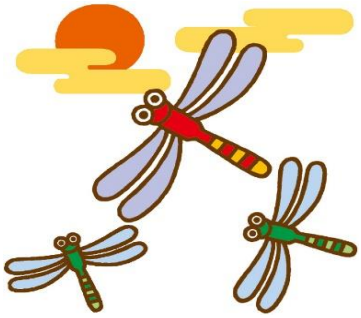
ようこうだより

2019年度



24時間テレビより念願の
日産キャラバンを寄贈して
いただきました～！！

毎日送迎外出
で大活躍♪

「令和の時代に」理事長挨拶

令和という時代になり最初の「ようこうだより」を発刊でき、大変嬉しく思うのと同時に、館邑会の歴史に新しい時代を迎えた機会に、改めて法人が進むべき方向を確認したいと思います。

館林邑楽地域の障害者支援をいち早く始めた館邑会です。現在では、他法人の皆様が多く福祉サービスを提供しているので、利用者にとって多くの選択肢が増えてとても素晴らしい時代になったと思います。

しかしながら、館林邑楽地域では、このような社会資源はまだまだ不足していると伺っておりますので、館邑会においても地域のニーズを正確に把握し、そのニーズに応えるべく事業の展開を続けてまいりたいと思います。

さて、表紙に掲載させて頂いた、日産キャラバンですが、昨年暮れに日本テレビ放送網株式会社（毎年夏に放送される24時間テレビ）より福祉車両ワゴン車の寄贈を受けました。大変ありがたく車両を利用させて頂いております。この福祉車両は全国の皆様から寄せられた善意のある寄付金から購入し贈呈されたものと伺っております。法的な名義は館邑会のものですが、本当の持ち主は、24時間テレビにご寄付をして頂いた皆様ということを念頭に置き、大切に使わせて頂いております。放課後等デイサービス「ういず」で子供たちの送迎に活躍しております。

館邑会において、社会貢献の新しい取り組みについて皆様にお知らせしたいことがあります。公益財団法人日本財団（公営競技のひとつである競艇の収益金をもとに、海洋船舶関連事業の支援や公益・福祉事業、国際協力事業を主に行なっている公益財団法人。）という団体があります。過去に於いて、ふらっぐの店舗改装工事に多額の補助金を頂いたり、第二陽光園・陽光園・ふらっぐの各事業所で福祉車両の補助金を頂いたり多くの恩恵を受けてまいりました。この度、日本財団様より寄付金の協力依頼を受けました。最初に、第二陽光園の食堂に伊藤園のジュース自動販売機を設置いたしました。続いて陽光園にも設置いたしました。仕組みはジュースやコーヒーなどが1本販売される毎に十円の寄付金が日本財団に贈られます。既にこの事業は、日本全国、数多くの会社や病院、社会福祉施設などで取り組みが行われています。ジュースの売り上げを通して間接的に社会貢献を行うことになりました。なお、この寄付の使い道は、社会的養護経験者（親の死亡や病気、虐待等の理由で養護施設等で暮らした若者達）の奨学金制度「夢の奨学金」に使って頂くことになっています。

今後も、いろいろな取り組を通じて社会福祉法人として貢献して行きたいと思います。

理事長　山川　博

一隅を照らす光、此れ即ち、国宝なり。

陽光園

先人達が、館邑会の始まりの施設として、どれほどの熱き想いを持って、「陽光園」と名付けたのか想像をめぐらすことができます。

新時代の令和になっての、「陽光園」は、陽の光の如く輝く施設は素より、主役である、利用者さん（60名）の、1人1人が陽の光のように輝てる人たちが集り、社会生活を送っている場所といえます。

利用者さんたちが、光輝いている、日中活動は大きく分けて、社会貢献活動、経済活動、創作活動、園外活動、余暇活動、そして、グッドスマイル活動があります。

社会貢献は、ペットボトルリサイクル、園内の掃除、昼食時の配膳、草木の水やり等々、枚挙にいとまがありません。

経済活動（業務提携し工賃を頂いています）として、枕カバー伸ばし、段ボール組み立て、プラスチック分別作業、明和町公共施設（明和社協・めいちゃんち・ぽぷら・すずかけ）へのパンの配達、館林市、邑楽町、太田市の保育園へクッキー配達を行っています。

創作活動では、陶芸や絵画、木工、編み物、折り紙等を行っており、個展や作品展では多くのファンを魅了しています。邑多福まつり等での陶芸販売では、リピータも多く、人気となっています。園でも販売できますので、気になる人は是非、陽光園まで！

園外活動や余暇活動では、みんなで仲良くバスやバンに乗って、公園やショッピングモール、公共施設、ふらっぐやからふる、軽登山ができる場所等、色々な所に出かけ、体を動かしたり、地域の人たちと交流をしたりしています。

食事会やお楽しみ会、GOODJOBに出掛け、かき氷を通して交流したりしています。園でゆっくり過ごしたり、読書や治具等を行って過ごしたりもしています。

最後のスマイル活動は、プライスレスの満面の笑顔で周りの人たちを和ませてくれ、みんなを癒してくれます。

性別も性格も年齢も障害特性も十人十色ですが、一個人として、社会人として今日よりも明日と、より良くなろうと前向きに取り組み、生活し、活動しています。

そんな、十人十色の利用者さんたちは、職員に最先端の支援の在り方を考えさせてくれ、教えてくれ、導く相乗効果も与えてくれています。

個々のニーズや生き方は千差万別で、誰もが幸せを感じられ、日常生活、社会生活が送れる場所が陽光園ですが、社会、経済、職員、利用者同士を照らしてくれているのも、利用者さんたちです。

太陽の光のように輝いている利用者さんたちの集まりだから、陽光園。此れ即ち国宝なり。

今日も明日も、10年後も、30年後も輝き続ける陽光園でありたいと思います。

生活支援員
勤続3年　村岡寛之

笑顔咲く温かな日々を！

第二陽光園

「人生の幸せとは？」と聞かれた時、真っ先に浮かぶものは何でしょう。私は「笑顔でいること」と答えます。

越澤施設長からの「みんなが毎日笑顔で過ごせるようにしていこう」という言葉で始まった今年度の第二陽光園では、日々たくさんの笑顔が見られています。

楽しく人生を謳歌するには健康でなくてはならない。

高齢の方が増えてきた第二陽光園では、利用者のみなさんが健康である為に、日々の生活の中で、理学療法士の指導の下、リハビリテーションを行っています。リハビリ・・・と聞くと敷居が高く感じてしまうかもしれませんが、日中の活動に行うものや、日課で行っている楽しい歌や体操の中に取り入れていく等、利用者のみなさんにとって楽しく身体を動かせる身近なものになっています。

楽しみと言えば外出！利用者の皆さんの楽しみになってもらえればと、季節毎の行事や皆さんの希望をとって旅行の計画を立てる等、楽しく笑顔で過ごしていただけるような活動を行っています。特に旅行の際には、旅行の前からおしゃれな服を買いに行く等、事前の準備からワクワクしている様子が見受けられます。

自分で場所が思いつかない…という方でも、食べたい物や買いたい物等の聞き取りから利用者のみなさんが楽しい思い出となる旅行になるようにと、計画、実施をしています。

日中活動の楽しみとなっている創作芸術活動。作品展に並べる合作や個人作品・・・皆さんの個性が沢山の素敵な作品を生み出しています。

絵画や編み物、折り紙やちぎり絵、それぞれの方が楽しく笑顔で作品制作に取り組んでいます。

日々、様々な場面でみなさんの温かい笑顔があふれています。

私自身も利用者のみなさんと笑顔で過ごす事で、日々温かな気持ちで心地よい毎日を過ごせています。

いつまでもみなさんの笑顔と共に朗らかに過ごせたら幸せだなぁ・・と想いを馳せながら過ごす毎日です。

主任　生活支援員
勤続８年　堀江洋平

10周年を迎えて　ふらっぐ

私は4月からふらっぐへ異動となりました尾形と申します。以前は生活介護支援を中心に支援を行っていました。初めての就労支援事業所で日々学び、やりがいを感じながら支援に努めております。

ふらっぐは4つのセクションに分かれ作業に取り組んでおります。

1つ目はパン製造セクションです。パン製造セクションではパンやプリン等を皆で作り、販売・配達しています。また、取引先は明和町めいちゃん家、館林ぽんぽこ、慶友病院、今年度から明和町ポプラ・すずかけが増えました。

2つ目はダノン工場清掃セクションです。ダノンジャパン館林工場にて工場内の清掃をしています。また、今年の秋に、ダノン工場内でヨーグルト仕分けの作業（リサイクルセンター）も再開する予定です。

3つ目はお弁当製造・菓子製造セクションです。館林駅前の作業場（からふる）にてお弁当製造と焼き菓子製造をしています。お弁当は各事業所に販売し事業所内でも美味しいと評判です。焼き菓子はクッキーを主にふらっぐやその他店舗に配達販売をしています。

4つ目はエーアグレスセクションです。エーアグレスセクションではプラスチックの分別を主に作業を行っています。皆さん地域社会に溶け込み、行き帰りはバスや電車等の交通機関を使い、出勤しています。

毎日の作業の他にも就職者を祝う会や毎年旅行に出掛け仲間達との交流や仕事以外への楽しみ・生きがい。地域への交流をしています。今年度の就職者を祝う会では3人の就労に伴い、館林のすたみな太郎にてお酒やお食事をし仲間の就職を祝福し、みんなの就職を目指す励みにもなりました。

毎年の旅行では去年は1泊の旅行に東京ディズニーランド・ディズニーシー、2泊3日の旅行に長崎、日帰り旅行にジブリ美術館。皆さんのアンケートで希望を取り行きました。各々話を聞いたりするとすごく楽しかったみたいで今年の旅行も皆さん楽しみに毎日の仕事を行っています。

ふらっぐでは「自分らしく働き、自分らしく生きる。」を理念に基づき10周年を迎えることが出来ました。日頃のお客様へ感謝を忘れず、これからもおいしいパン、お菓子、お弁当を作っていこうと思います。また、10周年を振り返り仕事を通し、メンバーひとりひとりそれぞれの成長が私たち職員の貴重な財産となっていることは言うまでもありません。これからもメンバーにとって充実感と楽しさが得られる場であり、そしてまた地域の中で生き生きと働く姿を見ていただける場「ふらっぐ」でありたいと思っています。変わらず今後も様々な取り組みを行っていきますのでどうぞよろしくお願いします。

生活支援員
勤続2年　尾形大地

新たな環境の中で　てんしゃば

平成16年度に、地域の中で自立した生活を目指し、館林駅前通りに地域ホーム「てんしゃば」を開所し、女性4名での生活が始まりました。

その後、地域ホームからグループホームへと変わり、「そら」・「あすかA」・「あすかB」・サテライト型ホーム「西隆館」の各ホームを増設してきました。

てんしゃば

「利用者が安らげる暮らしを、利用者と共に作っていく」の基本理念の下、利用者が地域の一住人として自ら人生を楽しむことができるような生活支援を心がけています。一人ひとりが自分なりの生活を送りながら15年の歳月が過ぎ、ホーム「てんしゃば」は老朽化や利用者の高齢化等により生活していくには不具合が見られるようになってきました。生活する上で住居環境は最も大切であり、安心して暮らせる場所を整えるために、このたびホーム「てんしゃば」は廃止し、ホーム「あすかA・B」の地に新たにホーム「あすかC」を設ける事にしました。

あすか

住み慣れた場所が変わるのは期待と不安が伴います。その思いに寄り添いながら、新しい環境で安心した生活を送れるように心のケアも含めて準備してきました。

引越しは夏季休暇を利用して猛暑の中、行いましたが、あすか利用者皆さんの協力もあって無事に済み、ホーム「あすかC」での生活がスタートしました。

今では新たな場所での生活にも慣れ、各々が交通機関を利用して日中の事業所に通っています。

また、休日ともなると市バスを使って一人で出かける人、移動支援を利用してヘルパーさんと遊びに行く人、近所のスーパーでおやつを買い、テレビを見ながら部屋で過ごす人等々。

ホームは皆さんにとって「住み慣れたまちで暮らし続けたい」という思いをかなえるための場、安らげる場でなければなりません。そのためには、社会資源を有効活用しながら、生活の幅を広げていきたいと思います。これからも大勢の人と関わりながら暮らしていきたいと思います。何より地域の人々の理解や温い見守りに感謝しています。

今後もご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

主任　生活支援員
勤続32年　森田雪江

「ほっと」一息・・・ほっと

令和元年８月20日、16時22分…激しい雨と雷の後、窓の外南の空に二重の虹が掛かった。目を奪われて、「ほっと」一息つく瞬間でした。ふと７年前に入職した頃に思いを馳せてみると、まだ館林市仲町に有る市民センター分室の信金跡の小さな一部屋にほっとが有った頃で、机を並べて職員同士が室内を移動するのもやっとのところでした。

その年は、当時障害福祉サービスを利用されている方の全員分のサービス等利用計画を３年で作り上げることを国から求められて２年目となる年でした。その頃の私は入職したばかりで『相談支援』という言葉すら知らない状態でしたので、障害福祉サービスの名称やその内容は出会った相談者さんの求めに応じて調べていくことで覚えてゆきました。１人、また１人と新たな相談者さんと出会うことで、わずかずつですが知識が増えていった実感が有ります。

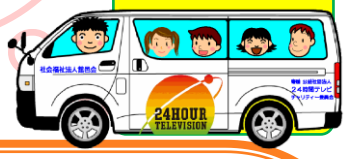
入職当初はセンター長をはじめ諸先輩方より、基本的なことを始めとして専門的な事までのご教授を頂きました。残念なことに、時間の経過と共に忘れ去ってしまった言葉もありますが、今でも忘れずに印象深く心に残っている言葉がいくつかあります。その中の１つで『声なき声に耳を傾けて！』という、センター長からの言葉が有ります。相談支援を行う上で、昨今特に重要視されている『意思決定支援』にも繋がる言葉です。実際に表出言語の無い方もたくさんいらっしゃり、言葉があっても感情表現がうまくできない方もいらっしゃいます。長い人生の内で人は何度か大きな選択を迫られる時が有りますが、その大事な選択を自分以外の誰かによって決められてしまったら、その結果が望まないものになってしまった時に、人は消化しきれない思いを残してずっと持ち続けて行ったりします。その状況は相談者さんにとっても苦しい事です。或る選択肢の１つを選んだ場合に、それによって起こり得ると想定できるメリットとデメリット、又その選択肢を選ばなかった場合のメリットとデメリットを言葉や文字や絵等、その方にとってより伝わりやすいと思われる方法で伝えて、何を選ぶかを一緒に考えてゆきます。相談者さんが答えとして返してくれる言葉や表情・身体の反応等も見ながら、どんな意思を表現したいのかを『声無き声に耳を傾けて』感じ取る努力を続けています。多くの方の意思決定を支援するということは、多くの方々の人生の決断の場に立ち会わせて頂くことにもなり、併せてその決断の際の不安や寂しい想いにも立ち会い、寄り添ってゆくということになります。本人が選んだ次のステージに向かっていく姿を見れば、その時は最善の選択と思っても、本当にこれで良かったのだろうかと只々祈る想いで幸せを願っています。

昨年度は、ほっと全体で約720名の方の相談に対応させて頂きました。令和という新しい時代を迎えた今年度は、常勤する職員11名と療育相談員１名の計12名で、相談支援事業にあたらせて頂いています。これからも相談者さんの想いにそっと寄り添いながら、それぞれの方の相談を伺って、意志の決定を支援していきたいと思っています。

相談支援専門員
勤続７年　長沢葉子

放課後等デイサービス ういず

ういずは、今年度で7年目を迎えています。お子さんの年齢の幅も広がり、活動内容もさらに工夫が必要となってきています。これからもお子さんひとり一人の成長に寄り添っていけるよう努めてまいります。　ういずスタッフ一同



夏休み、ふらっぐでの買い物

☆夏休みになると色々な公園や公共施設に行って遊びます。遊びを通して皆と過ごす楽しさや充実感を感じてもらえるように支援を行っています。

☆ふらっぐでは、好きなパンを見てニコニコしながら選んでいます。買ったパンは館内の飲食スペースで食べて過ごします。

☆スケジュール☆

ういずでは、「いつ」「どこで」「何を」の情報を、お子さんひとり一人の理解に添ったスケジュールで伝えています。活動に見通しを持ち安心してういずの活動に取り組んで頂けるようにスケジュールの提示を行っています。

課題

ういずでは、「課題をする」という活動をスケジュールに入れています。お子さん達の興味・関心を惹くような素材を使ったり設定を考え、お子さん達に合った課題を考案し、作成しています。

わかること・できることを大切に

時間や活動の終わりを腕時計で確認したり、時刻表を見て公共の乗り物に乗ったり、得意なことを生かす経験をしたり、将来の生活も意識した活動を考えていきます。

ういず１期生イケメンコンビ。小学１，２年だった２人が、中学生になりました！

抜群のセンスを生かしてﾌﾗﾜｰｱﾚﾝｼﾞﾒﾝﾄ。素敵な花かごに仕上がりました。

おやつの時間

お子さん達ひとり一人が、自分でおやつを選びほしいことを伝えることが出来るようおやつの選び方に工夫をしています。お子さん達に楽しくおやつを食べてもらいたいと思っています。

共に過ごす

ＧＯＯＤ　ＪＯＢ

昨年４月に開所したＧＯＯＤＪＯＢですが、早くも１年が経ちました。その中で昨年途中から大きく変わった出来事がありました。今まで利用者さんの仕事の中心であった、ダノンリサイクルセンターが新設工事の為に作業が一時中断になってしまったことでした。当初、利用者の皆さんから「ダノンがない時はどこで仕事をするの？」や給料が下がってしまうのでは、といった心配の声が多く聞かれました。その心配事にも一つ一つ説明を行い利用者の方には納得をしてきてもらいました。

今までは作業を中心に行ってきてもらっていましたが、作業・仕事が少ないからこそ余暇にも力が入れられるのではと思い様々な企画を考えていきました。その一例としまして、６月22日がボーリングの日ということで太田市に行き利用者の方々とボーリング大会を行ってきました。

そのほかには、ＧＯＯＤＪＯＢ内の多目的室を使い利用者の皆さんを中心にお好み焼き、焼きそばを作り食べてもらうなどの活動も行ってきました。その際は、買い出しなどから利用者さんに行ってもらうなど今後の実生活にも活かせるような形を取りました。

また、余暇活動だけを行うのではなく、化粧品会社協力のもとに身だしなみ講習なども行ってきました。衣類を整えるだけではなく、ネクタイの縛りかたや、洗顔の仕方、女性は化粧の仕方やアフターケアなども職員と一緒に学びに行きました。また、「暮らしのルールブック」を使った学習会も行いました。その際に私自身が何かを伝えるためには一緒に学び・共有することが非常に大切になるのではないかと感じました。

共に知り・共に得て・共に繋げるこれこそがＧＯＯＤＪＯＢの基本理念にある「知る・得る・つなげる」になるのだと思いました。

ダノンのリサイクルセンターが止まっている間も皆さんの仕事は続いていました。リサイクルセンターを中心に作業を行っていた利用者さんは、館林厚生病院周辺の清掃やてつなんごなどの清掃、館林駅西口周辺の清掃なども行ってもらっていました。その際に、地域の方から「頑張ってるね」などの励みの言葉をもらえることも皆さんの意識が高まる瞬間でもあり、職員としても障がいのある方をもっと知ってもらわなければと強く思いました。

ダノンリサイクルセンター再開の目途も立ち利用者さんたちも期待と不安の気持ちでいっぱいだと思いますが、これからも利用者さんと大変なことや楽しいことなどを様々なことを共有していけたらと思っています。

職業指導員
勤続11年　笹崎拓未

○表彰披露

◇日本知的障害者福祉協会　知的障害者福祉事業功労者（20年）

陽光園　木村夏子　サービス管理責任者

第二陽光園　中里文代　生活支援員

ういず　新井昭代　児童発達支援管理責任者

◇群馬県知的障害者福祉協会　永年勤続表彰（10年）

陽光園　田辺幹敏　生活支援員

陽光園　藤井純子　生活支援員

ふらっぐ　村山早苗　生活支援員

◇群馬県手をつなぐ育成会　永年功労教職員（8年）

陽光園　新井孝明　生活支援員

第二陽光園　堀江洋平　主任　生活支援員

第二陽光園　関根尚未　生活支援員

第二陽光園　張　戴萬　調理員

○寄付金・寄贈品（平成30年7月～令和1年6月）

◇法人本部

館林西ロータリークラブ　様　50,000円

館邑会後援会　様　150,000円

◇陽光園

邑楽南中学校チャリティバザー　様　業務用掃除機1台

館林市手をつなぐ育成会　様　218,500円

◇第二陽光園

第二陽光園保護者会　様　4,801,399円

館林市手をつなぐ育成会　様　163,000円

◇てんしゃば

館林市手をつなぐ育成会　様　53,000円

◇ういず

公益財団法人山田昇記念財団　様　ドライブレコーダー5台

ご厚情に心より感謝申し上げます。

平成30年度　財産目録

（平成31年 3月31日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目	金額
Ⅰ 資産の部	
1. 流動資産	
流動資産合計	353,453,980
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
基本財産合計	332,863,306
(2) その他の固定資産	
その他の固定資産合計	234,969,535
固定資産合計	567,832,841
資産の部の合計	921,286,821
Ⅱ 負債の部	
1. 流動負債	
流動負債合計	50,728,308
2. 固定負債	
固定負債合計	62,101,717
負債の部の合計	112,830,025
差引純資産	808,456,796

貸借対照表内訳表

平成31年 3月31日現在

（単位：円）

勘定科目	本部	第二陽光園	てんしゃば	ほっと	陽光園	ふらっぐ	ういず	GOODJOB	合計	内部取引消去	事業区分合計
流動資産	22,561,934	147,718,077	18,036,721	21,698,270	85,139,151	50,260,106	5,147,317	17,502,895	368,064,471	△10,000,000	358,064,471
現金		100,000		100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	600,000		600,000
預金	22,561,934	102,312,581	11,950,401	17,003,318	63,701,668	28,399,945	910,883	7,108,033	253,948,763		253,948,763
事業未収金		45,305,496	6,086,320	4,594,952	21,337,483	11,475,518	4,136,434	10,088,862	103,025,065		103,025,065
貯蔵品						121,728			121,728		121,728
原材料						162,915			162,915		162,915
前払金								206,000	206,000		206,000
拠点区分間貸付金						10,000,000			10,000,000	△10,000,000	
GOODJOB拠点区分貸付金						10,000,000			10,000,000	△10,000,000	
固定資産		339,386,675	5,522,316	3,941,109	190,350,583	35,368,933	626,541	1,136,684	576,332,841	△50,362,783	525,970,058
基本財産		244,040,100	723,528		88,099,678				332,863,306		332,863,306
土地		50,903,470			40,124,805				91,028,275		91,028,275
建物		176,991,976	723,528		47,974,866				225,690,370		225,690,370
建物付属設備		16,144,654			7				16,144,661		16,144,661
その他の固定資産		95,346,575	4,798,788	3,941,109	102,250,905	35,368,933	626,541	1,136,684	243,469,335	△50,362,783	193,106,752
建物		140,494			4	25,749,306			25,889,804		25,889,804
建物付属設備		4,617,148	3,645,461		81,304	887,377			9,231,290		9,231,290
構築物		896,749			445,734	192,938			1,535,421		1,535,421
機械及び装置		868,298			40,552	507,101			1,415,951		1,415,951
車輌運搬具		876,418	245,000	1	8,539,616	2,887,558		305,970	12,854,563		12,854,563
器具及び備品		3,619,609	23,422	14,933	919,870	1,135,991	14,924	291,600	6,020,349		6,020,349
リサイクル預託金		140,310		11,090	84,920	49,760		9,050	295,130		295,130
権利		47,231	343,000		149,968	153,985			694,184		694,184
ソフトウェア		72,561	29,361	776,901	29,361	29,361	112,161		1,049,706		1,049,706
無形リース資産				1,880,820					1,880,820		1,880,820
拠点区分間長期貸付金		32,862,783			17,500,000				50,362,783	△50,362,783	
退職給付引当資産		4,745,474	512,544	1,257,364	2,373,576	775,556	499,456	530,064	10,694,034		10,694,034
移行時特別積立		19,969,500			27,086,000				47,055,500		47,055,500
施設整備積立資産		11,400,000			40,000,000	3,000,000			54,400,000		54,400,000
人件費積立資産		10,500,000			5,000,000				15,500,000		15,500,000
修繕費積立資産		4,590,000							4,590,000		4,590,000
資産の部合計	22,561,934	487,104,752	23,559,037	25,639,379	275,489,734	85,629,039	5,773,858	18,639,579	944,397,312	△60,362,783	884,034,529
流動負債		12,440,782	669,137	3,296,165	5,093,885	3,606,185	747,442	15,135,179	40,988,775	△10,000,000	30,988,775
事業未払金		7,623,583	280,355	1,538,470	3,248,044	2,783,682	354,684	4,394,551	20,223,369		20,223,369
1年以内返済予定リース債務				835,920					835,920		835,920
職員預り金		4,817,199	388,782	921,775	1,845,841	822,503	392,758	740,628	9,929,486		9,929,486
拠点区分間借入金								10,000,000	10,000,000	△10,000,000	
ふらっぐ拠点区分借入金								10,000,000	10,000,000	△10,000,000	
固定負債		4,745,474	33,375,327	2,302,264	2,373,576	775,556	17,999,456	530,064	62,101,717	△50,362,783	11,738,934
リース債務				1,044,900					1,044,900		1,044,900
拠点区分間長期借入金			32,862,783				17,500,000		50,362,783	△50,362,783	
退職給付引当金		4,745,474	512,544	1,257,364	2,373,576	775,556	499,456	530,064	10,694,034		10,694,034
負債の部合計		17,186,256	34,044,464	5,598,429	7,467,461	4,381,741	18,746,898	15,665,243	103,090,492	△60,362,783	42,727,709
基本金		104,636,470			60,936,155	3,000,000			168,572,625		168,572,625
基本金		104,636,470			60,936,155	3,000,000			168,572,625		168,572,625
国庫補助金等特別積立金		142,134,803	1,182,376		40,223,286	15,410,692			198,951,157		198,951,157
国庫補助金等特別積立金		142,134,803	1,182,376		40,223,286	15,410,692			198,951,157		198,951,157
その他の積立金		46,459,500			72,086,000	3,000,000			121,545,500		121,545,500
移行時特別積立金		19,969,500			27,086,000				47,055,500		47,055,500
施設整備積立金		11,400,000			40,000,000	3,000,000			54,400,000		54,400,000
人件費積立金		10,500,000			5,000,000				15,500,000		15,500,000
修繕費積立金		4,590,000							4,590,000		4,590,000
次期繰越活動増減差額	22,561,934	176,687,723	△11,667,803	20,040,950	94,776,832	59,836,606	△12,973,040	2,974,336	352,237,538		352,237,538
次期繰越活動増減差額	22,561,934	176,687,723	△11,667,803	20,040,950	94,776,832	59,836,606	△12,973,040	2,974,336	352,237,538		352,237,538
（うち当期活動増減差額）	8,984,619	15,953,520	2,010,112	502,365	3,864,268	△9,020,054	△3,995,371	2,974,336	21,273,795		21,273,795
純資産の部合計	22,561,934	469,918,496	△10,485,427	20,040,950	268,022,273	81,247,298	△12,973,040	2,974,336	841,306,820		841,306,820
負債及び純資産の部合計	22,561,934	487,104,752	23,559,037	25,639,379	275,489,734	85,629,039	5,773,858	18,639,579	944,397,312	△60,362,783	884,034,529

資金収支内訳表

（自）平成30年 4月 1日（至）平成31年 3月31日

（単位：円）

		勘定科目	本部	第二陽光園	てんしゃば	ほっと	陽光園	ふらっぐ	ういず	GOODJOB	合計	内部取引消去	合計
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	0	0	0	0	0	35,774,355	0	8,573,903	44,348,258	0	44,348,258
		障害福祉サービス等事業収入	0	301,610,770	43,235,460	56,845,650	123,213,173	47,708,200	24,225,858	51,225,290	648,064,401	0	648,064,401
		その他の事業収入	300,000	0	0	0	0	0	0	0	300,000	0	300,000
		経常経費寄附金収入	8,900,000	5,279,175	51,224	0	277,076	0	0	0	14,507,475	0	14,507,475
		受取利息配当金収入	628	17,330	104	143	7,832	325	37	92	26,491	0	26,491
		その他の収入	406,840	538,489	7,005	188,091	2,281,320	3,882,059	8,480	0	7,312,284	0	7,312,284
		事業活動収入計(1)	9,607,468	307,445,764	43,293,793	57,033,884	125,779,401	87,364,939	24,234,375	59,799,285	714,558,909	0	714,558,909
	支出	人件費支出	0	230,141,128	26,246,428	48,512,792	93,018,662	44,347,617	22,263,044	37,513,783	502,043,454	0	502,043,454
		事業費支出	0	38,756,415	12,191,534	0	16,972,552	7,509,217	4,061,241	4,857,451	84,348,410	0	84,348,410
		事務費支出	2,222,849	14,006,683	1,919,814	6,544,248	7,782,834	6,445,283	1,775,308	2,183,613	42,880,632	0	42,880,632
		就労支援事業支出	0	0	0	0	0	35,609,771	0	8,572,929	44,182,700	0	44,182,700
		その他の支出	0	0	0	0	0	3,554,380	0	0	3,554,380	0	3,554,380
		事業活動支出計(2)	2,222,849	282,904,226	40,357,776	55,057,040	117,774,048	97,466,268	28,099,593	53,127,776	677,009,576	0	677,009,576
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	7,384,619	24,541,538	2,936,017	1,976,844	8,005,353	△10,101,329	△3,865,218	6,671,509	37,549,333	0	37,549,333
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	0	100,000	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000
		施設整備等収入計(4)	0	0	100,000	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000
	支出	固定資産取得支出	0	162,324	490,000	561,600	667,000	0	0	822,601	2,703,525	0	2,703,525
		ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	835,920	0	0	0	0	835,920	0	835,920
		施設整備等支出計(5)	0	162,324	490,000	1,397,520	667,000	0	0	822,601	3,539,445	0	3,539,445
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	△162,324	△390,000	△1,397,520	△667,000	0	0	△822,601	△3,439,445	0	△3,439,445
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	0	184,781	0	0	0	4,725	25,056	0	214,562	0	214,562
		拠点区分間繰入金収入	1,600,000	0	0	0	0	3,000,000	0	0	4,600,000	0	4,600,000
		その他の活動による収入計(7)	1,600,000	184,781	0	0	0	3,004,725	25,056	0	4,814,562	0	4,814,562
	支出	積立資産支出	0	8,981,800	36,000	103,200	216,120	90,528	45,112	81,192	9,553,952	0	9,553,952
		拠点区分間繰入金支出	0	400,000	0	400,000	400,000	0	0	3,400,000	4,600,000	0	4,600,000
		その他の活動支出計(8)	0	9,381,800	36,000	503,200	616,120	90,528	45,112	3,481,192	14,153,952	0	14,153,952
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,600,000	△9,197,019	△36,000	△503,200	△616,120	2,914,197	△20,056	△3,481,192	△9,339,390	0	△9,339,390
		当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	8,984,619	15,182,195	2,510,017	76,124	6,722,233	△7,187,132	△3,885,274	2,367,716	24,770,498	0	24,770,498
		前期末支払資金残高(11)	13,577,315	120,095,100	14,857,567	19,161,901	73,323,033	53,678,138	8,285,149	0	302,978,203	0	302,978,203
		当期末支払資金残高(10)+(11)	22,561,934	135,277,295	17,367,584	19,238,025	80,045,266	46,491,006	4,399,875	2,367,716	327,748,701	0	327,748,701

事業活動内訳表

（自）平成30年 4月 1日（至）平成31年 3月31日

（単位：円）

		勘定科目	本部	第二陽光園	てんしゃば	ほっと	陽光園	ふらっぐ	ういず	GOODJOB	合計	内部取引消去	合計
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	0	0	0	0	0	30,037,115	0	8,573,903	38,611,018	0	38,611,018
		障害福祉サービス等事業収益	0	301,610,770	43,235,460	56,845,650	122,853,173	47,708,200	24,225,858	51,225,290	647,704,401	0	647,704,401
		その他の事業収益	300,000	0	0	0	0	0	0	0	300,000	0	300,000
		経常経費寄附金収益	8,900,000	5,279,175	51,224	0	277,076	0	0	0	14,507,475	0	14,507,475
		サービス活動収益計(1)	9,200,000	306,889,945	43,286,684	56,845,650	123,130,249	77,745,315	24,225,858	59,799,193	701,122,894	0	701,122,894
	費用	人件費	0	230,438,147	26,282,428	48,615,992	93,234,782	44,433,420	22,283,100	37,594,975	502,882,844	0	502,882,844
		事業費	0	38,756,415	12,191,534	0	16,972,552	5,917,397	4,061,241	3,173,671	81,072,810	0	81,072,810
		事務費	2,222,849	14,006,683	1,919,814	6,544,248	7,782,834	6,085,283	1,775,308	2,183,613	42,520,632	0	42,520,632
		就労支援事業費用	0	0	0	0	0	35,819,676	0	8,572,929	44,392,605	0	44,392,605
		減価償却費	0	12,968,001	1,161,905	971,279	6,523,876	2,469,017	110,097	215,981	24,420,156	0	24,420,156
		国庫補助金等特別積立金取崩額	0	△5,077,002	△172,000	0	△2,998,911	△846,000	0	0	△9,093,913	0	△9,093,913
		サービス活動費用計(2)	2,222,849	291,092,244	41,383,681	56,131,519	121,515,133	93,878,793	28,229,746	51,741,169	686,195,134	0	686,195,134
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	6,977,151	15,797,701	1,903,003	714,131	1,615,116	△16,133,478	△4,003,888	8,058,024	14,927,760	0	14,927,760
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	628	17,330	104	143	7,832	325	37	92	26,491	0	26,491
		その他のサービス活動外収益	406,840	538,489	7,005	188,091	2,281,320	3,882,059	8,480	0	7,312,284	0	7,312,284
		サービス活動外収益計(4)	407,468	555,819	7,109	188,234	2,289,152	3,882,384	8,517	92	7,338,775	0	7,338,775
	費用	その他のサービス活動外費用	0	0	0	0	0	1,092,740	0	0	1,092,740	0	1,092,740
		サービス活動外費用計(5)	0	0	0	0	0	1,092,740	0	0	1,092,740	0	1,092,740
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	407,468	555,819	7,109	188,234	2,289,152	2,789,644	8,517	92	6,246,035	0	6,246,035
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	7,384,619	16,353,520	1,910,112	902,365	3,904,268	△13,343,834	△3,995,371	8,058,116	21,173,795	0	21,173,795
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	0	100,000	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000
		特別収益計(8)	0	0	100,000	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000
	費用	特別費用計(9)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	0	100,000	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	7,384,619	16,353,520	2,010,112	902,365	3,904,268	△13,343,834	△3,995,371	8,058,116	21,273,795	0	21,273,795
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	8,977,315	170,534,443	△13,671,875	20,251,929	91,479,220	70,876,660	△8,983,949	0	339,463,743	0	339,463,743
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	16,361,934	186,887,963	△11,661,763	21,154,294	95,383,488	57,532,826	△12,979,320	8,058,116	360,737,538	0	360,737,538
		基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	37,959,500	0	0	0	0	0	0	37,959,500	0	37,959,500
		その他の積立金積立額(16)	0	46,459,500	0	0	0	0	0	0	46,459,500	0	46,459,500
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	16,361,934	178,387,963	△11,661,763	21,154,294	95,383,488	57,532,826	△12,979,320	8,058,116	352,237,538	0	352,237,538

ようこうだより　令和一年十月号

編集・発行　社会福祉法人 館邑会

〒370-0614 群馬県邑楽郡邑楽町赤堀八三六の一
TEL:0276-88-6700　FAX:0276-88-6930　e-mail:info@kanoukai.com
http://www.kanoukai.com

平成30年度　館邑会　事業報告

１．役員会等の状況

開催日	事業名	内容
6月4日	第１回理事会	平成30年度事業報告・決算、運営規程変更、補正予算
6月19日	第１回評議員会	平成30年度事業報告・決算、補正予算
10月12日	第２回理事会	てんしゃば定員増、運営規程変更
2月5日	第３回理事会	補正予算、就労移行事業の廃止、運営規程変更 陽光園障害者相談支援センター廃止、評議員会開催 業務執行状況報告
2月19日	第２回評議員会	補正予算
3月15日	第４回理事会	運営規程変更、給与規定変更、平成31年度事業計画・予算 管理者選任(異動)、評議員会開催
3月29日	第３回評議員会	平成31年度事業計画・予算

２．その他会議やイベント

開催日	事業名	内容
8月1日	館邑会後援会	決算・予算、事業報告
10月4日	第三者委員会	苦情解決について、虐待への取り組み、その他
10月20日	秋まつり	
2月10日	新年会	

３．研修会（地域福祉講演会　主催：館邑会）

開催日	事業名	内容
1月26日	「障害者虐待とは」	なぜ虐待がおきるのか？どうしたら予防できるのか？

苦情受付処理結果

令和1年9月30日現在

事業所名	受付時期	苦情の内容	解決結果	解決レベル
GOOD JOB	R1.5.27	からふるに本人の母親から電話がある。先週末からふるの職員に「もう来るな」と言われた。と話し、行きたくなと話している。職員ではなく、他利用者からそのようなことを言われていたことを伝えると「うちの子が嘘を言っているということか」と指摘を受ける。からふるには「もう行かない」と話を受ける。	管理者に報告。すぐに管理者より家庭に電話する。父親が対応。まずは、事業所内で本人が嫌な気持ちになったことについて謝罪する。その後、これまでの経過について説明（職員から聴取した内容）する。父親も「本人が言っていることを信じたい」とのことであり、これは言葉の虐待ではないかとも話がったので、虐待防止センター（ほっと）に相談してもらって構わないことを伝える。家族で相談支援センターほっとに訪問して話し合いを行う。本人からの聴取により「来るな」と言われたことについては、他利用者であったことが判明。その後、父親から電話があり、誤解は解ける。今後、本人の気持ちを励ますような声かけをお願いしたいと話があった。本人の気持ちが落ち着けば、これまで通り出勤してほしいこと。今後も本人の話を聞きながら一緒に考えていくことを伝えた。	管理者・ほっと
ふらっぐ	R1.6.7	今週、作業グループの企画で外食に行くことになっており、本人にその必要経費が１０００円とのことで本人に持たせた。今日本人に確認したところ外食には行かずに、「お金はない」と本人が話しているが、外食はどうなったのか。本人に聞いても話さないので電話をしたとのことであった。	外食会は、行われた。人数が多いため数回のグループに分け日程をずらしながら実施した。本人に声をかけたところ「行きたくない」と返事があった。せっかくの機会なのでどこかのグループと一緒に行ければよいと思い無理強いはせず、本人の意思に任せ、グループが行く日ごとに声をかけたが最終的に本人は参加しなかった。本人が、飲み物を買うところは見ていたが、外食分のお金を使っているとは職員も思わなかったようです。と伝える。このところ暑い日が続いているので自動販売機で使っている回数が増えていた様子はあったようです。とも伝えた。母親は、せっかくの外食だから行けばよかったのにと話していたが、その都度企画の話は本人に伝えるが、参加不参加は、本人の意思を尊重していきたいことを伝え、できる限り参加できるようにしていきたいことも話した。	サービス管理責任者

社会福祉法人館邑会の役員

1．評議員
前山秀樹（善長寺住職）
三田正信（館林市社協長）
峯﨑俊雄（板倉町社協長）
立木留吉（明和町社協長）
久保田　馨（千代田町社協長）
神長泰弘（大泉町社協長）
田部井猛夫（邑楽町社協長）
安樂岡信子

2．理事
山川　博（理事長）
太田敏雄
谷津義男
石村　實
山本　樹
多田善洋（県議会議員）
黒田香代美（陽光園所長）

3．監事
田沼俊彦
栗原則雄

4．第三者委員
田中美喜雄
平野一男（司法書士）
石村澄江

編集後記

ようこうだよりの編集を担当して今回で３回目となる。いままでで一番ドタバタと過ぎたように思う。

今年度も半年が過ぎ、５月に和暦も「令和」に変わり、10月には消費税が10％に上がった。消費税増税に伴い、報酬改定もあったが・・・。

利用者さんにとってよりよい環境づくりのために我々ができることをしていきたいと思う。